

介護ステーション ぶらんち ニュースレター

Vol.

104

令和7年8月号

今年8月15日は終戦80年……

まだまだ、酷暑の続く日々。
皆様、体調はいかがですか。
今、TVは連日、戦後80年の番組と
日航機墜落事故40年の番組が放映されています。
戦後80年、戦争体験者も超高齢になられ、
語り続けることの転機が訪れています。
語り続けることは、
きっと大切なことですが、
実際に経験していない者が語り継ぐ、ということは、
リアルさには欠けるのは、否めない。
ただ、いつも私が思うのは、語り継ぐのは「リアルさ」だけだろうか。
戦争という行為は奪い合うこと、傷つけ合うこと、課題を武力での解決する手段であること、
そのことが、何も生まない！
「何も生まない行為」それこそが、重要なのではないだろうか。
「リアルな体験」があれば、より鮮明に訴えられるが……
語り継ごうと活動している若者たちを見る度に、「リアルな体験」をしていないからこそ、
新しい訴え方がきっと生まれてくる予感がして、
とても頼もしいな～と思う私です。リアルが失われれば、より真相に近づく、かも



介護業界を盛り上げよう！！

介護という仕事は、なくなる仕事。
ただ、人が課題です。
私が思う「人が課題」は、
もちろん、働く人、数が足りない、ということもありますが、
それより深刻だな～と思う事は、働く意識。
普通の業界同様に、休みが欲しい、お給料が欲しい、
という気持ちは分かります。
しかし、介護という人のライフラインの仕事ですので、
「休む」については、ある程度、ルールは守らないと、
と考えます。
最近「働き方改革」という言葉が
盛んに言われる様になり、
働き方を改革するのは大賛成ですが、
だからと言って、仲間の負担や利用者様の状態を考えず、
権利を主張して、自分都合のみで「休む」は
どうなのかな～と私は疑問です。
ON・OFFを大事にしながら働く。
それは当然のこと。
しかし、OFFを優先し過ぎてしまう傾向が強い。
それは、ON・OFFを大事にしていることではないのでは。
働く＝経済活動
今、日本の経済は悪化傾向です。
働き方改革は進めていくのと
働く意識は別物であることに、気づき、
日本という国が豊かになり、その中で介護という仕事が
尊い仕事として認められる時代になることを心から願う

ぶらんちの今を紹介

8月から2名スタッフが増えました。
早川 克郎さん
榊 暁彦さん

7月からは
奥 香織さん
が入職されています。

3名とも、介護の仕事は初めてです。
みなさん、初任者研修受講しながら、
先輩スタッフと同行を今、しています。

皆様のサービスに同行した際は、
どうぞ、よろしくお願い致します。

7月、8月、9月はスタッフのお休みが多く、
担当者・時間・曜日などの変更が
多くなるかと思います。

皆様にはご迷惑をお掛けしてしますこと、
心からお詫び申し上げます。